

県北地域における「繁殖和牛経営」の担い手育成

茨城県のブランド牛「常陸牛」の素牛生産を担う

～県北山間地域に生産者、繁殖雌牛が集中（県全体の約7割）～



茨城県では、県北農林事務所が事務局となり、県畜産協会や県肉用牛生産者協会等と協力して、繁殖和牛生産農家の育成を図るため、牛の飼養管理に関する講義や農家での体験実習を内容とする「新規繁殖和牛経営入門講座」を平成23年度から開講しています。

これまでも、就農希望者や後継者、大学生など県内外からの方が参加し、また、講座内容も子牛価格の高騰など繁殖和牛をめぐる近年の状況をも反映させながら、各講師により充実化を図ってまいりました。

さらに、受講生や実習受入れ農家、関係機関（普及センター、肉用牛研究所、農業総合センター、大子町、畜産協会、肉用牛生産者協会等）における意見交換会では、将来の抱負や、アドバイス、ネットワークづくりなどが行われるとともに、現在も、**就農相談への対応や、就農者への巡回等**を行いながら**フォローアップ**を続けております。

今後も、繁殖和牛経営の担い手育成を図るとともに、常陸牛素牛生産地である県北地域における繁殖和牛生産基盤の維持発展に努めてまいります。

◆ 平成29年度 新規繁殖和牛経営 入門講座

【受講対象】 将来、茨城県内で、

- 就農(肉用牛経営)を希望している者
- 肉用牛肥育経営から繁殖一貫経営への転換を考えている者
- 複合経営の一部門として繁殖和牛の導入を希望している者
- 耕作放棄地を活用し、放牧をしたいと考えている者 等

～県北地域における畜産振興～

【講座内容】

平成29年7月～平成30年1月（合計8回）
畜産センター肉用牛研究所、実習受入れ農家等

- 基礎講座：4回
牛の飼養管理、繁殖管理、繁殖和牛の経営、就農支援制度、子牛市場見学等
- 農家体験実習：4回
大子町などの受入れ協力：11農家

～地域と結びついた繁殖和牛経営～



◆ 就農相談による新規就農の実現 ～関係機関の連携～

～大子町への新規参入の事例～ *平成29年度：第8回講座で講演

/大子町には、住居も牛も土地もなく、ゼロからの出発

- ・ 入門講座を受講（基礎知識＋農家実習）、大子町の農家とのつながり
- ・ 県北農林事務所：常陸大宮地域農業改良普及センターに相談（就農意思）
- ・ 大子町就農支援協議会に相談（住居、牛舎、就農計画、就農給付金）



(平成25,26年:受講⇒平成27年:新規就農)